

**平成30年度
公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告**

総括的概要

平成30年度の我が国経済状況は、緩やかな経済成長が続いていると言われていましたが、本年夏に相次いだ自然災害等により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられ、中小企業を中心に厳しい経営状況となりました。

また、少子高齢化を背景とした生産年齢人口の減少が顕著に見られ、特に丹後地域においては労働者の確保及び賃金の上昇など、各産業界において人手不足感が高まっています。

このような状況の中、当センターにおいても近隣住民の減少による来館者の減少傾向が続いており、老朽化する施設と併せ大きな課題となっています。

平成30年度はこのような問題を抱えつつ、製造、生産に力を注いでいる企業や個人と綿密に連携しながら事業に取り組んで参りました。

以下、本年度の事業内容を報告します。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 地域ものづくり支援事業

販路開拓事業で収集した消費者情報に基づき、既存商品の改良、新商品の開発指導を随時実施しました。

2 高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

(1) 平成27年度に整備した高機能急速冷凍装置を丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者などに開放し、それぞれの分野において「食」に関する新たな戦略の構築を支援しました。

平成30年度活用実績 14社、182回

(2) 共同利用型の高鮮度維持冷凍機の実習・実例講習会の開催

実際に同冷凍機を活用されている方の協力を得て、地場製品のさらなる高付加価値化、販路拡大、販売促進を目的と下記の講習会を開催しました。

○日 時 平成30年6月27日（水）

1回目 10時から11時

2回目 14時から15時

○場 所 当センター研究開発棟

- 内 容 機器の説明と事例発表、試食、個別相談
- 受講者 12社、14名

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業の機会を促進するため下記の人材育成事業を実施しました。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業として創業支援窓口を開設しており、京丹後市をはじめとした関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行いました。

2 手織教室

「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定されたこの機会に、あらためて織物にスポットを当て、製織についての基礎を学ぶ機会を設定しました。

- 日 程 平成31年3月1日・3月29日
(19:00～21:00)

- 内 容 綜紉入れ、箆入れ、糸繰り、手織り
- 受講者 網野機業組合4名

3 染色教室

京丹後市職業訓練校と共催で地域の地場産業である着物の着用機会の増進を目指し、一人でも着用できる着物着付教室を開催しました。

また、丹後ちりめんの完成品化に寄与する人材育成を目指し、染色教室を開催しました。

- きもの着付教室
日 程 平成30年9月12日～11月28日 毎週水曜日
全12回

受講者 14名

○染色教室

◇染色基礎Ⅰ

- 日 程 平成30年4月17日～9月25日 毎週火曜日
全20回

受講者 5名

◇染色基礎Ⅱ

日 程 平成30年10月2日～平成31年2月26日 毎
週火曜日 全15回
受講者 6名

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) T a n g o G o o d G o o d s 認定事業

事業開始以来20年目を迎えるT a n g o G o o d G o o d s 認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。毎年改正される商品表示法については最新の状況を審査基準として採用し、認定品としてのコンプライアンスの指導を行い、アレルギー表示の他、着色料・保存料等の表記についても製造者の意識を高め、T a n g o G o o d G o o d s としての質的向上を図りました。また、認定品へのT a n g o G o o d G o o d s ロゴシール貼付指導を推進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

ア 認定状況

(ア) 申請状況

申請者数43業者、申請商品数85点

(イ) 認定状況

認定者数42業者 認定点数84点

通算（平成28年度～30年度）認定者数105業者、
認定点数270点

(ウ) 優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は4点が表彰されました。また、優秀産品を示すロゴシールの作成、配布を実施しました。

イ T a n g o G o o d G o o d s 認定推進委員会開催

認定事業実施においては、認定推進委員会委員10名に就任いただき認定について協議いただきました。

(ア) 第1回T a n g o G o o d G o o d s 認定推進委員会
平成30年4月23日 午後2時開催

(イ) 第2回T a n g o G o o d G o o d s 認定推進委員会
平成30年7月11日 午前10時開催

(ウ) 平成30年度T a n g o G o o d G o o d s 審査会

審査員として専門家（デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー）3名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会日時 平成30年7月9日・10日

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施

ウ Tango Good Goods 認定品カタログの作成（B to B用）及びバイヤーへの配布

平成30年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等でバイヤーへ配布しました。作成部数1,000部

(2) 第20回Tango Good Goods見本市の開催

第20回目となる丹後ブランド産品見本市を京都丹後ブランド産品会との共催により、宮津市民体育館において開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内PR及び流通促進を図りました。

資料1

2 京都丹後ブランド産品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

Tango Good Goods 認定事業者のうち地域外へも、その販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

(1) 主な事業

ア 都市部での丹後のええもんうまいもん展の開催

イ 展示即売会等の開催情報の提供

ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布

エ ECサイトの運営

URL <http://tango.jibasan-shop.jp/>

資料2

3 染色体験・資料展示事業

研究開発棟を活用し、染色技術の習得による製品化を念頭に網野染色研究会「茜」の会員を対象とし、年間を通じて染色技術の指導を実施しました。

(1) 染色体験

スキルを身につけた会員による観光客等を対象とした染色体験を随時実施し、334（前年対比25.0%増）名を受け入れました。

(2) 染色作品展示会の開催

年間を通じ製作した作品を展示し、広く一般に染色技術の啓蒙普及を図りました。

○網野染色研究会「茜」染色作品展

日 時 平成30年11月2日・3日
午前9時30分から午後4時

来場者数 98名

Ⅳ 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月「アミティ情報」を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の経営基盤強化及びセンターとの意思疎通を図ることができました。

資料3

2 センターホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できるタイムリーな情報を提供することを心がけ地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンターのホームページとして発信するとともに、消費者が直接丹後産品を購入できるECサイトの運営、京丹后市ふるさと納税サイトの活用を図りました。

また、丹後地域及びセンター情報を発信するブログを引き続き運営し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客を図りました。

資料4

Ⅴ 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ209業者の地場産品約2,600品目に及ぶ製品を展示・販売しており、来館者の注目も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただいています。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの握による需要拡大に努めました。

店舗における購買動向を分析することで、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎となっています。

また、店舗における商品の見せ方を工夫することで、商品の特徴、魅力をアピールするVMDに努め、出展者の商品の魅力発信力を強化するとともにバイヤーへのVMDを含めた商品提案を行いました。

2 丹後産品情報発信事業

消費者向けカタログ（中元・歳暮の2種）の作成配布、ECサイトの運営を行い、丹後産品を全国に向け広く周知しました。

資料5

VI 丹後産品集積活性化事業（公益目的事業1）

1 ICT人材育成・活用による丹後産品集積活性化事業

平成22年度に整備した丹後産品集積活性化システムを活用し、農産物を中心とした丹後産品の集積と新販路開拓を目的とした上記事業は、平成27年度から「食のみやこ丹後王国」に業務を移管しており、今年度は「丹後地域におけるまちづくりに関する連携協定」の協働事業として連携による事業を実施しました。

2 丹後ブランドアンテナショップ調査事業

平成30年2月をもって「ホッと丹後」運営事業を終了しましたが、地場産品生産・製造者及び都市部消費者からの事業継続要望とともに、大都市圏での丹後情報の発信、地場産品PRを推進するため新たな方式によるアンテナショップの開設可否を調査、検討した結果、京都市右京区の高島屋洛西店において、民間企業並びに食のみやこ丹後王国、海の京都DMOとの連携により「海の京都丹後物産コーナー」を開設しました。

○海の京都丹後物産コーナー

開設日 平成30年9月26日

場所 高島屋洛西店1階食品売場内 約6坪

（京都府京都市西京区大原野東境谷町2丁目5-5）

取扱品 丹後地域の地場産品（農産物・農水産加工品等）

○海の京都丹後物産展の開催

上記コーナーの周知及び買い物の利便性向上を目的に京都市中心部において丹後物産展を開催しました。

日時 平成31年2月24日 午前10時から午後4時

場所 B I V I 二条屋外イベントスペース（都市中京区西ノ京梅尾町107）

来場者数 500人

Ⅶ 会館提供・コミュニティー事業（収益事業 1）

1 会場提供事業

センター 2 階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

資料 7

2 京丹後市企業立地推進事業

平成 27 年度に整備したテレワークオフィスを京丹後市企業立地推進事業の実践場所として提供しました。

Ⅷ 誘客販売事業（収益事業 2）

1 販売事業

来館者等の利便に資するため土産品としてキーホルダー等の販売を行いました。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設 18 年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き朝市を毎日曜日開催しました。

（1）アミティ丹後春の感謝祭

4 月 29 日開催

（2）アミティ丹後秋の感謝祭

11 月 4 日開催

アミティ丹後出展者会との共催

3 野村克也ベースボール展示ギャラリー

野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、地域の観光資源として展示を行いました。

資料 8

Ⅸ 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
平成30年5月30日	○平成29年度事業報告・収支決算について ○評議員会の招集について
平成30年6月27日 (みなし決議)	○理事長の選定 ○専務理事の選定
平成31年3月26日	○平成31年度事業計画・正味財産増減予算について

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
平成30年6月26日	○平成29年度貸借対照表、損益計算書の承認について ○理事、監事の選任について

3 監査会

開催日	内容
平成30年5月21日	○平成29年度事業・決算監査

4 全国地場産業振興センター協議会

全国の地場産業振興センターの連絡・連携を目的として同協議会が設立されており、昨年に引き続き会長として協議会の運営を行いました。

(1) 全国地場産業振興センター協議会総会

○日 時 平成30年7月5日 午後2時30分から5時

○会 場 広島県福山市 福山市ものづくり交流館 スタジオA

(2) 全国地場産業振興センター協議会平成30年度第1回幹事会

○日 時 平成30年6月7日 午後3時から5時

○場 所 (一財)都城圏域地場産業振興センター

(3) 全国地場産業振興センター協議会平成30年度第2回幹事会

○日 時 平成31年3月4日 午後3時から5時

○場 所 名古屋金山研修センター・ゼミナールプラザ
第5会議室